

令和8年度

来聴
歓迎

駒澤大学仏教文学研究所公開講演会

『日本霊異記』と『徒然草』

—文学と仏教—

東京大学名誉教授

五味 文彦

【講演要旨】

『日本霊異記』からは、編者景戒がどのように説話を集めたのかを探るなかで、
説話と仏教との関係を考え、『徒然草』からは、
作者の兼好法師がその周囲の人々との交流のなかで
詠んだ和歌と仏教との関係を考えることで、古代から中世にかけて、
文学と仏教とがいかに関わりが深かったのかを明らかにする。



講師／五味文彦

(ごみ・ふみひこ)

1946年生まれ。東京大学名誉教授。放送大学名誉教授。文化功労者。主な著書に『院政期社会の研究』（山川出版社）、『中世のことばと絵』（中公新書）、『書物の中世史』（みすず書房）、『文学で読む日本の歴史』（全5巻、山川出版社）、『鎌倉時代論』（吉川弘文館）、『人物でたどる日本の歴史』（東京大学出版会）など多数。

日時

2026年10月1日(木) 午後3時～4時30分

会場

駒澤大学駒沢キャンパス中央講堂

※オンラインでの同時配信はいたしません。

駒澤大学仏教文学研究所

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1 TEL 03-3418-9237